

理想へのあくなき挑戦！

ASANO KATSUHIKO

東京都議会議員 都議会ニュース あさの克彦

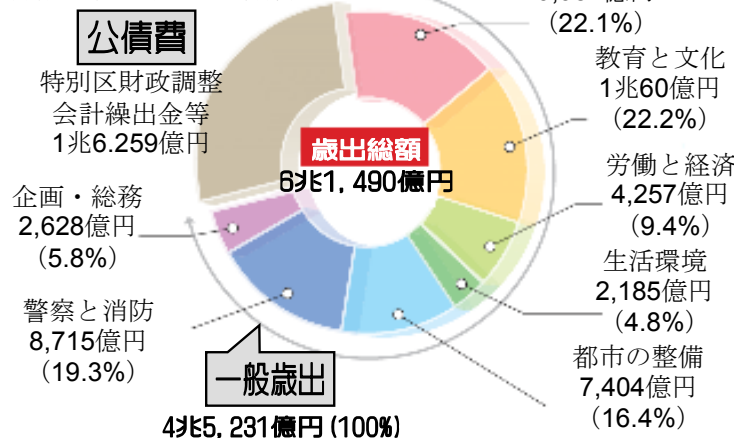
発行：東京都新宿区西新宿2-8-1 info@asano-k.net
TEL:03 (5320) 7230 FAX:03 (5388) 1784



あなたの税金、何に使われる？

【歳出の内訳】

(平成24年度一般会計予算案)



都民1人あたり46万6,000円

防災・エネルギー政策を重視

平成24年度東京都一般会計予算案が発表されました。東日本大震災の影響や世界経済の減速など厳しい景気情勢が続いているため、都税収入は5年連続の減収となる見込みです。

そのため、都債（借金）の発行や基金（貯金）の取り崩しを増やすことによって、必ず起こる首都直下地震への防災対応力の強化や、電力の安定供給に向けた発電などの環境・エネルギー政策、国際競争力を確保するインフラ整備などに重点配分した予算案となっています。

都予算案6,1兆円

要望と結果

私たち都議会民主党は、平成24年度の東京都予算案の編成に先がけ、石原知事に重点要望をおこないました。皆さまの都税が何にいくらか使われ、それによって何が期待できるのかという視点から、その結果をお知らせします。



都営大江戸線の大泉学園町までの延伸を都に要望

●要望

防災対策の強化

●その結果

自助・共助・公助による災害対応力の強化 283億円

●何が期待できる？

東日本大震災の被害を踏まえて、消防救助機動部隊の増設や消防施設の整備、都立学校における実践的な防災教育の推進、帰宅困難者対策（一時滞在施設の確保や訓練実施）などが進みます。

●要望

自立・分散型電源を確保

●その結果

高度防災都市づくりのための自立・分散型電源導入支援事業 5億円

●何が期待できる？

東日本大震災直後の電力不足の際には、六本木ヒルズのような自家発電設備の存在が脚光を浴びました。震災等の非常時における都民生活・都市活動へのダメージを最小限にするため、エネルギー源の自立化、分散化が進みます。

●要望

若者の雇用対策の強化

●その結果

紹介予定派遣制度を活用した就職支援 28億円

●何が期待できる？

若者の大企業志向と中小企業の人材確保にミスマッチが生じています。このことから、東京都では、平成23年度に、未就職卒業者と中小企業をマッチングし、3ヶ月の派遣終了後、正規雇用化を図る事業を創設。24年度は、対象者に若年非正規労働者を加え、事業規模を750人から1400人に拡大するなど、若年者の正規雇用化が進みます。

プロフィール

略歴

昭和49年9月 北海道札幌市生まれ
平成10年3月 北海道大学工学部卒
平成12年4月 大学院中退後、IT企業入社
平成13年7月 現埼玉県知事 上田さよし 秘書（後に事務所長）
平成21年7月 東京都議会議員 初当選 総務委員会

前職

都議会民主党 副政調会長
都市整備委員会 理事
予算特別委員会 委員
東京都道路整備保全公社 評議員

現職

財政委員会 委員
東京都青少年健全育成審議会 委員
東京都住宅政策審議会 委員

2012 都議会ニュース

ASANO KATSUHIKO



あさの克彦 事務所

〒179-0074 練馬区春日町4-18-8 第3小野ビル1F-B
TEL:03-5848-6918 FAX:03-5848-6919

あさの克彦 の「基本スタンス」

詳細はホームページへ <http://asano-k.net>

民主主義は多数決。どんなに格好いいことを言っても、実現できなければただの絵空事。もっとリアルに実現する（多数の賛同を得る）方法やその可能性を探るべきであると考えます。また、有権者の皆様が政治家を選ぶ際の判断基準となる情報はオープンに隠し事なく、全てを明らかにすることが都民全員参加の東京都政への近道と信じます。

わかりやすい情報発信を実践します。例えば「周産期医療」、要は産前・産後の母体と新生児の医療体制のこと。このように情報発信をする際の広報はわかりやすくすべきと考えます。高校生でわかるくらいのことばを使うことが「政治を身近なものに」一歩近づける広報と考えます。

あさの克彦は委員会などで、都に対して、言葉の選び方の重要性について提案・要望しています。

2020年、東京オリンピック・パラリンピック

一昨年、東京都は2016年オリンピックの招致活動を開始し、最終選考において敗れました。

前回の招致活動において最も苦労したのは都市住民の情熱喚起でありました。CM、イベント、ポスターと様々なアプローチで都民への働きかけを行ったものの「なぜ東京でオリンピックを開催するのか」が伝わらず都民の情熱を呼び覚ますには至りませんでした。

近年のオリンピックは、スポーツマンシップを通じた人類の相互理解と世界平和を提唱するだけではなく、世界平和の維持、発展のために欠かせない持続可能な社会づくりも目指し、環境とレガシーという理念によって、文化的で調和的な都市づくりをも希求しており、2020年大会も例外ではなく、この理念が求められていると考えます。

日本には環境保全に欠かせない技術が集積されているばかりか、自然界に畏敬の念を払ってきた世界に誇れる習慣・文化も持ち合わせています。大きな苦難に見舞われた日本人に、勇気と自信を取り戻すことが出来るとすれば、それは世界との相対化のなかで、日本人が紡いできた伝統と文化と、その両者から生まれた高い技術力を再認識し、世界の魁となって貢献する日本の役割を再発見することです。

○ 国民からのアイデア募集

スポーツを通じて世界をつなぐオリンピックは、オリンピックを通じて国内を一つにする作用を持っています。オリンピックを通じて様々な施策が展開されるなか、国民の間にも、招致戦略や被災地支援策、街づくり計画、スポーツ振興策、障害者支援策など多くのアイデアが眠っており、これを喚起しない手はありません。

今回、桜のリースをモチーフに作られた招致ロゴは美術大学の学生が作成したものでした。学生をはじめ多く国民の関与を一層促進することは、みんなのオリンピックを演出する上で重要な働きかけであると確信しています。そこで、都はオリンピックを通じて実現可能な政策提言を広く国民に募り、これを大会計画に反映させるだけでなく、「2020年の東京」などの長期計画に反映させていくべきではないでしょうか。いわば「政策オリンピック」の試みによって、オリンピックは行政と国民との共同事業になっていくものと考えます。



○ 被災地でのスポーツ環境整備を

被災地の子どもたちは、校庭に仮設校舎が建てられたことによって、サッカーや野球ができなくなっています。都に招いてスポーツ大会を行うだけでなく、被災地でのスポーツ環境を整備することを通じて、オリンピック招致をPRしていくことを求めました。

○ スポーツを通じて世界各国の被災地を元気づける

日本だけでなく世界各地においても、トルコやニュージーランドの大地震、オーストラリアやタイの大洪水など、大規模な自然災害が発生しています。そこで、スポーツを通じた世界平和という観点から、そのような被災した国や地域にスポーツを通じた支援で希望を与えていく一大プロジェクトを展開すべきと提案しました。

○ 最先端の省エネ技術のPR

昨今のオリンピックにおいて重要視されている理念の一つが「環境」であることは、これまでも指摘されてきました。世界が急速な都市化による環境問題に直面する中で、先進国が誇る省エネ・環境技術は諸都市から注目を集めています。

特に、日本のメーカー各社が誇る省エネ・環境技術は、単体の商品だけではなく、建物全体での取り組みなど、組み合わせによる技術の集積が進んでおり、従来の省エネを覆すものがあります。日本の高い環境技術を世界に力強くPRするべきと提案しました。

ご意見ご要望はFAXでどうぞ

ご要望内容

◇お名前

◇ご連絡先電話番号

◇ご住所

◇メールアドレス

FAX番号 : 03-5848-6919